



←日当たりのいい場所ではフキノトウが頭を出した。いつ誰が採るのだろう。きっとそのうちに誰かに採られる。

→冬晴れの江戸川を矢切の渡しが行く。

東北や日本海側では大雪が降っているようだが、矢切はそれとは関係なくよく晴れている。

土曜日は風もなく穏やかだったが、一夜明けた今日は太陽こそ出ていたが風は西北から冷たい風が吹いていた。

どういうわけか毎年、この時期に大  
学入試のためのセンター試験が行われていて、今年も受験生たちは雪に泣かされている。どうにかならないものだろうか。たとえば時期をずらすとか。

そんなことは関係なく、矢切の渡しでは膝痛で苦しんでいた舟頭さんがついに意を決して手術に踏み切った。

昨年、整形外科でMR検査をしたところ、半月板が損傷していることがわかった。そこで内視鏡による手術をすることになった。

半月板とは膝の間接部分の上下にあるクッションで、骨と骨が直接ぶつからないようにしているものだ。その形がちょうど半月のように見えることからその名がついている。

この軟骨状の半月板が、すり減ったりひびがはいった状態を半月板損傷と

## 今週のクマ

→今年もクマのファンだといおばさんがやって来た。散歩に連れていこうとリードをするが……。



→いかにも冬の花らしいヤツデの花が咲いた。白い線香花火のようだ。



いうらしい。らしい。というのには私は実際に見たことがないからだ。

舟頭さんの膝痛はどうやら遺伝ではないかと思えてくる。それというのも舟頭さんの母親も膝がわるく、人工関節をしている。整形外科医の話だといって舟頭さんが話してくれたところによると、まだ若いから人工関節までしなくていいということだったらしい。

「イヤだなあ、イヤだなあ。痛いんだろ  
うなあ」

手術が決まった昨年十二月からはこれが舟頭さんの口癖だった。

病院から借りた松葉杖でなんとか渡しの売店には出ていたが年が明けて一月十日には入院した。手術は十一日。無事に手術を終えて退院したのは十三日だったが、家にこもりきりで外には出ない。

かわりに売店に出ているのは舟頭さんの嫁さん。彼女の話によると、

「まだ痛いらしいよ。退院した日にはトイレに行くのも大変だったみたい」

それはそうだろう。半月板を削るか縫い合わせるかしたわけだから、とうぶんはおとなしくしていたほうがいい。今月の終わりくらいにはよくなるかな？